

キリストへの時間

「キリストへの時間」協力委員会報

「スッと横にくる御言葉」

日本基督教団春日井教会牧師 榮 巖

「キリストへの時間」協力委員会に新しく関わっている榮巖（さかえげん）と言います。長年仕えてくださっていた横山良樹委員の委員交代にあたって協力委員会に入ることになりました。ラジオ伝道について右も左もわからぬまま、少しでも神様の御用のために用いられるようにと祈りながら、「キリストへの時間」に仕えております。今後ともよろしくお願いたします。

「自分にとってラジオとは何か」と考えた時、真っ先に浮かんだのが小さい頃の我が家の朝食でした。食事の時はテレビを見ないという家庭のルールによって、朝ごはんの時はいつもラジオが流れていました。視覚情報のテレビニュースに比べて、聞き流すことのできるラジオニュースは、落ち着いた朝を支えてくれるBGMでした。加えて、ラジオと聞くと思い浮かぶのは、運転中のBGMです。ある運転中、BGMのつもりで聴いていたラジオが、自分の芯に迫ってきて、車を停めて話を聞き入っていました。

振り返ってみると、ラジオのイメージは「スッと横にいる」というものです。ある時は、聞き流せるぐらい自由に。ある時は、入り込むぐらい直接に。スッと横にいて身近さとまっすぐな言葉を与えてくれるのが、ラジオの良さだと感じています。テレビやネットのメディアが興隆する中で、ラジオというメディアが今なお生き残っているのは、そんな優しさと真剣さを感じられるメディアだからではないか、と委員となってから改めて考えています。

時に優しく、時に真剣に言葉が飛び込んでくるというのは、御言葉の働きそのものだとも思われます。コロナがようやく終息を迎えていく時期に、改めてエズラ記を読んでいました。エズラ記はエルサ

レム神殿が崩壊した後、どうやって神殿が再建されていったのか、を伝える書物です。教会がコロナで疲弊した状況を重ねながら、「神様、どうすればコロナから回復していくでしょうか」と祈りつつ読みました。その中で、心にスッと入ってきたのが、エズラの祈りの言葉です。なんとかして再建した神殿で、エズラは祈って言います。

「イスラエルの神、主よ、あなたは恵み深いお方です。だからこそ、わたしたちは今日も生き残りとしてここにいます。御覧ください。このような有様で御前に立ちえないのですが、罪深い者として、御前にぬかずいております。」（エズラ9：15）

当時の時代の困難と宗教意識の乱れた生活がユダヤ人の姿にはありました。それらの時代の影響は、エズラの努力によってはどうすることもできないことです。しかしエズラは、その時代の中に働かれる恵み深い神の姿を見ました。どうすることもできない時代の困難も、時代に疲れて苦しむ宗教意識の乱れも、全てを知りながら恵みにおいて導かれる神様がおられる。この恵み深い神様がいるゆえに、罪深い自分が、なお生きることができる。時代の痛みを味わって、自分の罪を味わって、失望に落ち沈むのではない。時代の困難も、罪深さもありながら、それでも神様に支えられて生きる喜びが与えられている。エズラの祈りの言葉がスッと入ってきて、改めて罪人であっても素直に、神様の恵みを喜んでいけばいいのだ、と励まされました。

御言葉がスッと横にくる。ある時は、響かないぐらい自然に。ある時は、心を掴むぐらい力強く。御言葉が私たちの近くにあり続けること。そんな恵みの響きを絶やさず「キリストへの時間」でありたいと思えます。

「イエス様につながる」

日本基督教団愛知守山教会信徒 加納眞知子

**わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。
人がわたしにつながっており、わたしもその人につ
ながってれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを
離れては、あなたがたは何もできないからである。**

(ヨハネによる福音書 15 章 5 節)

本日、読んでいただきました聖書の箇所は、よくご存じの方も多い箇所です。

私の祖父は 16 歳のころ、名古屋城の外堀にある大津橋のたもとで、赤ちょうちんが目印で「どなたもお入り」という看板がかかった屋台で伝道をされていた名古屋一致教会福音者、阪野嘉一先生から洗礼を受けて、キリスト者としての歩みをはじめました。

この祖父が残した遺言は「イエス様から離れないで、生きなさい」というものでした。

私が生まれた時には、祖父はすでに亡くなっていましたが、その遺言に従って、私は近所で開かれていた日曜礼拝に 5 歳の頃から出席し、小学生の時に守山伝道所に移り、現在に至っています。伝道所は、高校生になったころに愛知守山教会となりました。中学生の時から、キリスト教主義の学校に入りましたので、教会生活への疑問を何も持つことなく過ごしてきました。しかし、高校生のころ、何となく心に風が吹いているような虚しい気持ちになることがありました。礼拝で説教を聴いている時も、どこか上の空になりがちでした。そんな自分自身に残念な気持ちを持っていました。

その日の説教は先ほどの聖書の箇所でした。その時牧師先生がおっしゃった言葉に驚きと喜びが湧き上がったのです。それはこんな言葉でした。「イエス様は、離れて落ちてしまった枝でも、もう一度元に戻すことがおできになるのです。」私はびっくりして「えっ、それは本当なの？」本当に嬉しく感じました。実は私の状態が、離れて下に落ちてしまった枝のように感じていたからでした。もう一度幹であるイエス様につながっていただければ、と心から嬉しく思いました。その日、家に帰るとすぐに母に伝えました。「お母さん、

イエス様がもう一度つなげて下さるのだって！」何のことかわからなかったと思いますが、それからは、二度と落ちたりしないようにと思うようになりました。

落ちてしまっていたと感じていた時、本当に悲しく寂しい日々でした。「こんな私を愛して下さるイエス様がいらっしゃる。そしてもう一度、拾い上げて下さるのだ」と心から安心しました。愛されていることを確信することほど、生きる力になることはありません。創造主である神さまに愛されて、贖い主であるイエス様がいつも共にいて支えてくださるので、何も怖がることはないのです。

祖父が生きた年齢は 80 歳ほど、そして私も今 72 歳となりました。イエス様から離れずに生きるという希望をいただいて、喜びと平安の中を歩みたいと願っています。(2024 年 1 月 21 日放送より)



2023年度「キリストへの時間」会計報告

2023年4月1日～2024年3月31日

キリストへの時間 収支計算書（2023年度）

| 収入の部 | 決算 | 支出の部 | 決算 |
|------------|-----------|---------|-----------|
| 日キ教団. 教会献金 | 412,265 | 電波料 | 3,590,400 |
| 日キ教団. 個人献金 | 499,500 | 会報印刷 | 136,400 |
| 改革派. 教会献金 | 1,277,640 | 会場費 | 3,000 |
| 改革派. 個人献金 | 75,000 | 委員会交通費 | 20,330 |
| 金城学院関係 | 1,305,000 | 交通費 | 9,600 |
| 名古屋学院関係 | 580,000 | 庶務費 | 520 |
| 岐阜済美学院関係 | 309,500 | 通信費 | 56,224 |
| その他. 利息等 | 9 | 基金へ | 300,000 |
| | | 郵送通知料金 | 11,660 |
| | | 郵便振替手数料 | 19,236 |
| 小計 | 4,458,914 | 小計 | 4,147,371 |
| 基金繰り出し | | | |
| 前期繰越 | 607,812 | 次期繰越 | 919,355 |
| 合計 | 5,066,726 | 合計 | 5,066,726 |

「献金者」

■学院関係（複数回献金学院を含みます）

| | | |
|------------|----------|----------|
| 金城学院 | 名古屋学院 | 岐阜済美学院 |
| 1,000,000円 | 260,000円 | 300,000円 |
| 金城学院みどり野会 | 名古屋学院大学 | 中部学院大学 |
| 300,000円 | 320,000円 | 9,500円 |
| 金城学院高等学校 | | |
| 5,000円 | | |

■日本基督教団（複数回献金教会を含みます）

| | | | | |
|---------|-------------|---------------|------|---------------|
| 熱田教会 | シルバーセンターまきば | 日進教会 | 中京教会 | 大台めぐみ教会 |
| 天白教会 | 半田教会 | 名古屋教会 | 岡崎教会 | 尾陽教会 |
| 名古屋桜山教会 | 華陽教会 | 刈谷教会 | 豊田教会 | 春日井教会 |
| 豊橋教会 | 南山教会 | 名古屋中央教会 | 刈谷教会 | 豊橋教会. ひつじの会 |
| 金城教会 | 豊山教会 | 御器所教会 | 鳴海教会 | 名古屋北教会社会奉仕委員会 |
| 西尾教会 | 瀬戸永泉教会 | 金城教会. 社会福祉委員会 | | |

■日本キリスト改革派教会（複数回献金教会を含みます）

| | | | | |
|-----------|-------------|-----------|------------|---------|
| 大会メディア伝道局 | 恵那教会 | 多治見教会姉妹会 | 名古屋岩の上教会 | 中部中会 |
| 尾張旭教会姉妹会 | 津島教会 | 瑞浪伝道所 | 中部中会長老会 | 春日井教会 |
| 豊明教会 | 八事伝道所 | 中部中会信徒研修会 | 春日井教会サフラン会 | 中津川伝道所 |
| 四日市教会 | 中部中会. 連合婦人会 | 桑名伝道所 | 那加教会 | 岐阜加納教会 |
| 犬山教会姉妹会 | 静岡教会 | 那加教会婦人会 | 金沢教会 | 犬山教会兄弟会 |
| 関キリスト教会 | 名古屋教会 | | | |

■個人献金者（複数回献金者を含みます）

| | | | | |
|----------|----------|-------|----------|-----------|
| 足立克己 | 榊原いずみ | 町田玲子 | 杉山春雄 | 安達昭子 |
| 榊原善夫・有子 | 松田喜代 | 石原頼子 | 栗田昌子 | 篠田聡生 |
| 松本勝正 | 村田安三・貴志子 | 安野美根子 | 柴川久仁子 | ミナミガワ タクヤ |
| 藤本真実 | 石丸万里子 | 下村徹嗣 | 宮地潤子 | 服部治昭 |
| 伊藤 敦・八千穂 | 新海美智子 | 村上聡恵 | 堀田時男 | 伊藤勝利 |
| 杉原登久子 | 村瀬明子 | 伊藤まり子 | 鈴木聡杏 | 毛利義也 |
| 木村艶子 | 井戸美代子 | 関 節子 | 森前陽子 | 野田和子 |
| 榎本弘子 | 関 光徳 | 山田春日 | 落合建仁 | 遠藤芳男 |
| 高田俊夫 | 山田詩郎 | 落合克吉 | 大島 隆 | 田口博之 |
| 山田紀子 | 大谷京子 | 竹内治枝 | 横山良樹・ゆずり | 青山昭一郎 |
| 大田弘子 | 竹内喜保 | 吉田香代子 | 伊藤忠男 | 大塚美七子 |
| 竹内織江 | 栗田昌子 | 井上義明 | 大矢敦嗣 | 塚田 昇 |
| 奥田英子 | 長谷川峯子 | 岡 規子 | 柘植富子 | 奥野嘉実 |
| 三田村苗美 | 尾関幸子 | 土屋美恵子 | 下村徹嗣 | 伊藤きみ江 |
| 神村雅子 | 戸田安土 | 下村展子 | 羽野浩雪・環 | 菊池すみ子 |
| 神田輝夫 | 長屋仁美 | 河村輝昭 | 吉田晃啓 | 木村智恵子 |
| 佐藤千夏 | 藤篠聡彦 | 山田登志子 | 三田村苗美 | 黒木伊津子 |
| 藤篠聡美 | 小笠原英一 | 西堀則男 | 栁原 茂 | 藤篠淳子 |
| 小谷充子 | 石井正治郎 | 小島千香子 | 牧之瀬俊彦 | 森前陽子 |
| 藤澤深根子 | 小寺英明・正子 | 牧之瀬留津 | 須田静代 | 小林成隆 |
| 真木芳子 | 水野黎子 | | | |

『み言葉を宣べ伝えなさい。折が良くても悪くても励みなさい』

日本基督教団碧南教会・知立伝道所 大住裕子

昨年から、キリストへの時間アナウンサーを務めています。大住裕子です。普段は保育士や塾講師として子どもたちと一緒に楽しく過ごしつつ、日曜日は夫が仕える二つの教会でも楽しく過ごしています。

当初このラジオのお話を頂いたときに真っ先に頭に浮かんだのが、クリスチャンではない友人のことでした。友人に聖書のことばに触れてほしいと願いつつも、自分の出席教会に誘うには、少し距離がありすぎる。かといって友人の近所の教会に一緒に行ってみることも恒常的には難しい。ということで考えあぐねていたところでしたので、このような機会をいただければ、友人にも気軽に声をかけやすいということも考え、祈りの内にお受けいたしました。実際の放送後、「ラジオ聴いたよ！次もまた聴くね！」と、とても嬉しい感想をもらえました。radikoのおかげで好きな時に聴けるというのは、子育て中の友人にとって、とても助かっているようでした。

いつも放送の最後にお伝えしている通り、この番組

は多くの皆さまのご支援とご協力によって成り立っているのですが、それがどれだけ大変で尊いものなのか、携わってみて初めて感じることができました。献金として財政的に支えてくださるからこそ放送が続けられているということも感謝ですし、何よりも、この放送を心から必要としてくださっている方がたくさんおられること。放送がこれからも続くように、奉仕者の働きが祝福されるようにと祈ってくださっている方がたくさんおられる、ということをおたよりや、周りからのとても大きな反響によって知ることができました。そして、祈りがあるところには必ず主は働かれる。主の導きによって70年以上という長い歴史を紡いでこられたのだと思うと、こんな大きな働きに携わらせていただけることに、背筋が伸びる思いです。主の恵みのうちに、この放送が、80年、100年と続いていくことを願ってやみません。

どうか皆様、これからも放送を楽しみにしていただき。共に聖書のことばを分かち合いましょう。

『声が用いられて』

日本基督教団名古屋中央教会会員 中井真紀代

「わたしを離れてはあなたがたは何もできないからである」(ヨハネによる福音書 15:5)

「キリストへの時間」の案内役を務め始めてから、2年半ほど経ちますが、こうして皆様にご挨拶できる場を与えて戴きましたこと、感謝します。

2021年の秋頃からラジオ放送に携わることになりました。

初めての収録の前には、先輩アナウンサーである栗原廣子さんから発声や話し方などの丁寧なレッスンと、収録での注意事項など、数ヶ月にわたりレクチャーして頂きました。しかし未だ慣れることもできず、ご迷惑をかけることも多くありますが、たくさんの教会の牧師、また学校の先生方にお会い出来るのが楽しくて仕方ありません。ご奉仕なのにこんなに恵まれていいのだろうか、と毎回思っています。

しかしながら初めて「ラジオ伝道に関わらないか」とお話を頂いた時は、とても驚きました。そもそものきっかけは私の母教会である瀬戸永泉教会の小椋実央副牧師にお話をいただいたことでした。彼女とは、中学校からの同級生ですが、まさかこのような歴史ある番組

に放り込まれる(!)とは思っていませんでした。

正直に申し上げますと、「なんて話を振ってくれたの!?!重すぎるよ!!」と心の中で思ったことは、今だから話せる話です。

実はその頃、仕事の出勤日、体の調子、心の調子に折り合いがつかず、ほとんど主日礼拝に出席できずいました。今現在もあまり状況は変わっておりませんが。

しかしこうしてラジオ伝道に関わることができているのは神様が私の手を強く握って離さないでくださるからだと思っています。また再び会堂での礼拝に参列できるまで、この手を離さないように、しがみついていたと思っています。

そしてまた、私の他にも様々な理由から礼拝に行きたくても行かれない方の耳に届くように、まだ教会に足を踏み入れたことのない方のもとに、ふとスイッチを入れたラジオからキリストのことばが溢れ出しますように、と祈りながら聖書のみことばを朗読しています。

この小さな小さな働きが、神様の御心にとまり、私の預かり知らぬ場所で実を結んでいくことを心から祈ります。

「お便りください！」

前回の小欄でご紹介させていただきましたとおり、ギデオン協会のご協力により「新約聖書を送ってください」という方々へと聖書をお届けさせていたしております。このほど、ギデオン協会名古屋支部さまより改めて「キリストへの時間」向けに聖書を数十冊贈呈賜りました。貴いお働きを感謝し、厚く御礼申し上げます。

いただいた聖書はお届けしてもらえるのを待っており、レスポンス担当のわたくしも「送ってください」というお便りが待ち遠しくてなりません。また、お届けした方から「届きました」「この人にも送ってください」といった嬉しいお声も、お便りで聞かせていただいております。喜んで、ご依頼くださった方々へ送らせていただいております。さらには、『「キリ

ストへの時間』に献金したいので礼拝に来ました」とおっしゃり、直に献金をお預かりすることもございました。まことに、本放送が皆さまからの祈りとご支援によって続けられてきたのだ、と実感することとなりました。一つひとつの出会いをお与えくださった神さまをほめたたえます。

「キリストへの時間」協力委員会では、皆さまからのお便りをお待ちしております。(宛先は小欄下にございます。)年3回行われるこの委員会にはアナウンサーの方々にも陪席していただいております。向上のためご意見やご感想を共に分かち合わせていただけるのも嬉しいひとときです。心より感謝いたします。

「キリストへの時間」協力委員 八束 清



「キリストへの時間」放送予定 2024年7月～12月

7月

7日 琴ひかる (名古屋中学・高等学校 聖書科主任)
14日 大藪博康 (名古屋中学・高等学校 宗教部長)
21日 神山美奈子 (名古屋学院大学 宗教部長)
28日 澤村雅史 (名古屋学院大学 スポーツ健康学部教授)

8月

4日 小橋口貴人 (日本キリスト改革派 那加教会 牧師)
11日 小橋口貴人 (日本キリスト改革派 那加教会 牧師)
18日 長谷川潤 (日本キリスト改革派 四日市教会 牧師)
25日 長谷川潤 (日本キリスト改革派 四日市教会 牧師)

9月

1日 加藤幹夫 (日本基督教団 阿漕教会 牧師)
8日 加藤幹夫 (日本基督教団 阿漕教会 牧師)
15日 矢部 節 (日本基督教団 尾張一宮教会 牧師)
22日 矢部 節 (日本基督教団 尾張一宮教会 牧師)
29日 山田詩郎 (日本基督教団 名古屋北教会 牧師)

10月

6日 崔 大雄 (日本キリスト改革派 春日井教会 牧師)
13日 崔 大雄 (日本キリスト改革派 春日井教会 牧師)
20日 相馬伸郎 (日本キリスト改革派 名古屋岩の上教会 牧師)
27日 相馬伸郎 (日本キリスト改革派 名古屋岩の上教会 牧師)

11月

3日 高木総平 (岐阜済美学院 宗教総主事)
10日 高木総平 (岐阜済美学院 宗教総主事)
17日 八木橋康広 (中部学院大学 短期大学部 宗教主事)
24日 西島麻里子 (済美高等学校 宗教主事)

12月

1日 岩淵正樹 (日本基督教団 高蔵寺ニュータウン教会 牧師)
8日 岩淵正樹 (日本基督教団 高蔵寺ニュータウン教会 牧師)
15日 八束 清 (日本基督教団 御器所教会 牧師)
22日 阿部 啓 (日本基督教団 豊橋中部教会 牧師)
29日 阿部 啓 (日本基督教団 豊橋中部教会 牧師)

キリスト教や聖書についてご質問のあるかた、この放送についてのご意見ご感想のあるかたは、以下にお便りください。また、ご希望の方には新約聖書を無料でお送りいたします。

〒461-8691 名古屋東郵便局私書箱170「キリストへの時間」まで

CBC ラジオ「キリストへの時間」(1053kHz) 毎週日曜日 朝6時30分～6時45分放送
郵便振替 00880-1-70404・キリストへの時間